

### 感染性胃腸炎(ノロウイルス)

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌による胃腸炎を一括した診断名です。これから冬季に流行し 12 月に流行のピークを迎えるのが、ノロウイルスによる感染性胃腸炎です。2 年前の介護保険関連施設での集団発生と死亡例の報道を覚えておられる方もいると思います。

【症状】1～2 日の潜伏期を経て、嘔気・嘔吐・下痢・腹痛などの胃腸炎症状で発症します。発熱・悪寒を伴う事もあります。多くの場合、症状は軽く 2～3 日で軽快します。しかし症状消失後も 3～7 日間はウイルスは便に排出されますので、2 次感染に注意が必要です。

#### 【感染経路】

(1)ヒトーヒト感染：感染者の便や吐物にはウイルスが多量に含まれています。これらの処理の際に手指が汚染されて口に入ったり(接触感染)、吐物の飛沫から感染したりします(飛沫感染)。

(2) 食品ーヒト感染：ウイルスを含んだ便や吐物は下水に流されます。浄化処理を逃れたウイルスは河川に排出され、海で牡蠣等の貝類の中で濃縮されます。この汚染した貝類を**生食**する事によって感染します

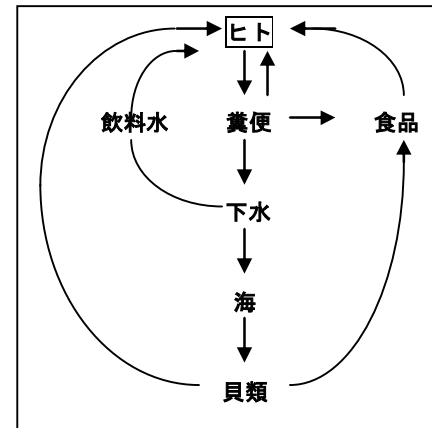
(3)ヒトー食品ーヒト感染：調理者の手や調理器具がウイルスで汚染されていた場合、食品が 2 次汚染される事により感染します。

【治療】有効な薬剤はありません。整腸剤や、脱水に対する水分補給や輸液等の対症療法が主体となります。

#### 【予防】

(1)おむつ交換や便・吐物の処理の際にはマスク・手袋を着用します。処理後は手袋を外し、石鹼と流水で十分手洗いを行って下さい。またノロウイルスはアルコールが効きにくいので、トイレのドアノブや吐物で汚染した床等は次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)で消毒して下さい。

(2)食品の十分な加熱が効果的です(中心温度で 85℃以上で 1 分以上)。また汚染した貝類を調理した手・包丁・まな板による他の食材の汚染を防ぐ為に、手洗いを励行すると共に、包丁・まな板はよく洗い消毒(熱湯等)して下さい。



御意見・御質問などは石巻保健所健康対策班までお願いします。 電話：0225-95-1430 FAX：0225-94-7104

もっと詳しく知りたい場合は、保健環境センターHP(<http://www.pref.miyagi.jp/hokans/>)を参照してください。